

2019年度
厚生労働大臣表彰

厚生労働大臣表彰を受賞して

新地町立新地小学校 栄養教諭 小 泉 弘 子

この度の厚生労働大臣表彰「栄養指導業務功労者」の受賞は大変光栄であり、支えてくださった皆様には心から感謝申し上げます。

私は福島県学校栄養職員として27年、その後栄養教諭(H17年度に食育基本計画で栄養教諭制度開始)として、子ども達の健康な体づくりのために、食育実践に取り組んでいます。

大震災・原発事故後は、食育の課題として、地場産物活用・肥満傾向児対策や健康課題解消をテーマに、エビデンスに基づいた食育を実践し、3W(チーム・ネット・フットワーク)により、成果につなげることができました。栄養士会の研修会も大変有意義でした。

今後も「食べる力・感謝の心・郷土愛」を育み、県の食育目標である「食を通してふくしまの未来を担う人を育てる～家庭、学校、地域が一体となった食育の推進」に関係機関と連携し、健康教育に尽力していきたいと思います。

2019年度
公益社団法人 日本栄養士会
会長表彰

日本栄養士会 会長表彰受賞と栄養士活動について

会津若松市役所健康増進課 岸 竜 子

この度は、栄えある日本栄養士会会長表彰をいただきましたこと、誠にありがとうございます。この表彰は、私にとって身に余る栄誉であるとともに、栄養士となってからの日々を振り返る良い機会となりました。

養成施設卒業後、慣れない勤務をしながらの管理栄養士試験勉強の日々を思い出し、今まで、さまざまな形の栄養士業務を経験してきたように感じております。

また、業務とともに栄養士会活動を通じて、数え切れないほど多くの人たちと出会いました。上司や先輩の諸氏、同輩や後輩の皆さん、そして地域住民の皆様によくのことを教わり、さまざまな経験をさせていただき、今の自分があるのは、その方々のお蔭だと感謝いたしております。

しかし、まだまだ道半ばであり、これからも人との絆を大切に、栄養士活動に携わっていきましょう、会員の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2019年度
公益社団法人 福島県栄養士会
会長表彰

公益社団法人福島県栄養士会 会長表彰を受けて

南相馬市立総合病院 岡 崎 千 晴

この度、福島県栄養士会会長表彰をいただき、誠にありがとうございました。

行政栄養士として病院や保健センター勤務をする中で、様々な経験をさせていただきました。特に東日本大震災と福島第一原子力発電所事故は、私や家族を含め、市民の生活を激変させました。避難による健康問題や食品の放射能汚染など様々な問題が発生し、改めて食の重要性を実感させられると共に、会員の皆様をはじめ、多くの方々から励ましやご協力、勇気をいただきました。今、栄養士を続けられているのは皆様のお陰と感謝しております。

これからは、多くの先輩栄養士の方々からいただいた知識、技術を次の世代に伝えられるよう、より一層精進してまいりたいと考えます。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

2019年度
健康ふくしま21推進県民
表彰

先輩、同輩、後輩の皆様に感謝！

医療法人明治病院 関 根 幸 子

この度「健康ふくしま21推進県民表彰」を受賞いたしました。

短大を卒業して、当院にとって初めての栄養士として採用されましたが、書類もマニュアルも何も無い状態で、毎日の業務をどのように勤めたらよいのか、途方にくれる私を助けてくださったのは、市内の保健所の栄養士さんや病院の先輩栄養士さんたちでした。

県北病院給食研究会に入会し、頑張っている先輩の後を必死で追いかけての40年でした。

栄養士会では、病院だけではなく、他施設の栄養士さんたちとも交流ができ、たくさんの刺激と情報をいただきました。

今も何か困ったことがあれば、同じ栄養士仲間に電話して、アドバイスをもらうことも多々あります。

これからは、微力ながらも後輩の皆さまにご恩返しできればと考えております。

この度は、本当にありがとうございました。